

こうぼく

区社協だより 創刊号

発行日

平成29年11月1日

発行元

社会福祉法人
横浜市港北区
社会福祉協議会

港北区社会福祉協議会をご存知ですか

港北区社会福祉協議会（略して、区社協）は、地域福祉の推進のために、ふだんの暮らしを支えるお手伝いをしている組織です。

ボランティアセンターの運営や地区社会福祉協議会の活動支援、福祉保健活動団体等への活動助成など、実はみなさんの生活の身近なところで関わりがある社会福祉法人です。

そうは言っても、「何をしているところなの？よくわからない！」というお声から、このたび広報紙を発行するはこびとなりました。区社協の業務や日頃の関わりについて、わかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

年2回発行の予定です。どうぞよろしくお願ひします。



こんなことをしています

福祉保健活動

の拠点

福祉保健活動団体等へ会議等で使用できる部屋の貸出をしています。

みんなの助成金

寄付金や基金等をもとに、福祉保健活動団体等へ活動助成をしています。

あんしんセンター

日常生活や金銭管理など、幅広く権利擁護に関する相談を行っています。

おでかけGo!

障がいのある人の外出の付き添いをするヘルパーやボランティアを探すお手伝いをします。

各分科会

障がい者セーフティネット、ボランティア市民活動、保育所、在宅福祉、地区社会福祉協議会の各分科会にわかれて年間を通じ啓発講座や検討会を行っています。

ボランティアセンター

ボランティアしたい人、してほしい人を結びつけるセンターです。

生活福祉資金

低所得者世帯や高齢・障がい者世帯に対し一時的に資金を貸し付けることで自立支援を図ります。

このほかにもいろいろ！詳細はお問い合わせください。



注目！今年度のいちおし事業

あったらいいね！

「こどもがひとりででも出かけられる場所」

「こどもがひとりで来られて、見守る大人がいる場所」が地域の中にたくさんあったら安心。横浜市では、港北区と磯子区をモデル区として「地域における子どもの居場所づくりサポートモデル事業」を始めました。

区内で既に活動している団体の方へ、インタビューなどを通して情報を集め、課題を一緒に考えたり、これから子どもの居場所づくりを始めようとしている方へ情報提供等を行っています。今後の展開は、ホームページやこの通信で随時ご報告していきたいと思ひます。



60歳以上の生活を支えたい～「生活支援体制整備事業」の取り組み

昨年度から、住み慣れた町で高齢者の方が安心して暮らし続けられるよう、地域で支えていく仕組みをつくる「地域包括ケアシステムの充実」をめざし生活支援体制整備事業が始まりました。取り組みを進めるために、横浜市では「生活支援コーディネーター」が各地域ケアプラザ（一部、特別養護老人ホーム）と区社協に配置されました。



今後の高齢者を支える人口の推移（イメージ図）

今年は、町単位での課題（居場所が増えたらいいな、送迎バスがあったらいいな等）・区の課題（ボランティアさんの困りごとは？港北ならではの悩みは？）を調べて、解決に向けて協議をしています。11月中に、たすけあい型ボランティアの連絡会を開催予定です。

平成29年度は「わかりやすい 見える区社協」をめざしたいと思ひます。今後、各事業の説明や報告などを詳しく行っていきます。ご感想などありましたらぜひお寄せください。



●発行/お問い合わせ

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会
〒222-0032
横浜市港北区大豆戸町13-1 吉田ビル206
電話 045(547)2324
FAX 045(531)9561
メール hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp
URL <http://www.kouhoku-shakyo.jp/>

